



竹内街道・横大路(大道)～難波から飛鳥へ日本最古の官道～ ガイド付ウォーキングイベント

大阪府松原市

コース
マップ

河内に置かれた最初の都・丹比柴籬宮からスタートし、松原の歴史と竹内街道を感じるコース。

日本遺産認定歴史の道、竹内街道・横大路(大道)とは

推古天皇21(613)年に敷設された竹内街道・横大路(大道)は、外交の玄関口である難波津から堺を経て、政治の中心だった飛鳥・小麿田宮(おはりだのみや)を結ぶわが国最古の官道。総延長約40キロ、幅20メートル以上だったといわれる。難波宮の朱雀大路から南下する難波大道、堺と長尾神社(奈良県葛城市)を東西に結ぶ竹内街道、長尾神社から小西橋(桜井市)を結ぶ横大路の三つの道からなる。古代以来、大陸との外交や聖德太子信仰、物流の拠点を結ぶ経済など、時代とともに多様な表情を刻んできている。平成29(2017)年に日本遺産に認定された。

主催:竹内街道・横大路～難波から飛鳥へ日本最古の官道「大道」～活性化実行委員会 共催:産経新聞社
(大阪府・大阪市・堺市・松原市・羽曳野市・太子町・奈良県・葛城市・大和高田市・橿原市・桜井市・明日香村)

ガイド:まつばらまちの案内人



令和元年度文化庁文化芸術振興費補助金
(地域文化財総合活用推進事業)



④さくら通り

松原歴史ウォーク201
河内松原教会と浪花教会牧師館



⑤土師弁財天

松原歴史ウォーク153
立部に祀られる土師弁財天



「さくら通り」の愛称は、南北の通り350メートルの両側に、数十本の桜が植えられているからです。さくら通りの周辺は柴籬住宅と呼ばれ、昭和初年から大阪市北区の小谷工務店が開発したものでした。戦後も、大阪府の分譲で広げられ、河内松原駅南部の住宅地として発展してきました。

柴籬住宅では、戦前から通りを利用して隣組対抗の運動会などをを行い、親睦を図っていました。通りは、大阪府国民健康保険団体連合会の生活習慣病予防のための「ツールド大阪 まつばらウォーキングコース」となっています。



⑦栄久寺

●TEL:072-331-0884



松原歴史ウォーク50
栄久寺にあてた教如の決意

真宗大谷派の寺院で、山号を願成山(がんじょうざん)といいます。寺伝では天正年間(1573~92)の住持が初代です。開基は不明ですが、同じ立部に法灯を伝えていた觀音寺(真言宗)が転宗し、現在地に移ったという説もあります。

境内には本堂・庫裏・薬医門などがあり、寺に残る資料より、本堂が1651(慶安4)年に建立され、1827(文政10)年に完成したことが分かっています。本堂は1990(平成2)年に修復されましたが、内陣と外陣は1836(天保7)年当時の物です。

石山合戦で織田信長に最後まで抵抗した教如(きょうによ)が、1580(天正8)年に河内国の門徒宛てに出した消息(手紙)、「教如上人消息」が残っています。河内に残る同時期の教如の消息は少なく貴重です。

⑥立部村庄屋宅

松原歴史ウォーク152
秋元氏が支配した立部村



栄久寺の北側に、薮野邸があります。現在、主屋は瓦葺きですが、もともとは茅葺きで、ひさしのみ瓦を葺いていました。のちの増改築はありますが、江戸時代後半の19世紀初頭頃に建てられたとみられています。

江戸時代、薮野家は河内国丹波郡立部村の庄屋を勤めていました。当家の「過去帳」は1735(享保20)年を上限としており、現主屋の前に使われていた1757(宝曆7)年の銘のある鬼瓦も保存されています。(見学はできません)。



スタート 松原市民ふるさとぴあプラザ

●開館時間:9:00~17:30
●休館日:月曜日(祝日を除く)年末年始(12/29~1/3) ●TEL:072-336-6800

松原市郷土資料館。館内には使用していた日用品や生活道具等が展示されています。建物の前には土俵が作られていますが、明治から昭和前半にかけて、松原やその周辺では、村相撲組合が組織していました。大相撲のような部屋をつくり、親方や行司・呼び出しあそび、数100人分もの棧敷を設けて見物客を集め、毎年11月頃まで興行を行っていました。



日本遺産構成文化財

①柴籬神社

●TEL:072-331-2138



松原歴史ウォーク79
「ちかみはし」と柴籬神社

社伝によれば、第24代仁賢(にんけん)天皇の勅命で創建されました。第18代反正(はんせい)天皇・依羅宿禰(よさみのすくね)・菅原道真を祀っています。

反正天皇が都とした丹比柴籬宮(たじひしばがきのみや)の跡と伝えられ、『古事記』によると、反正天皇は生まれた時、珠のような美しい歯を持っていたので端歯別命(みずはわけのみこと)と名付けられたとあります。社務所の向かいに歯神社があり、毎年8月8日の夜8時8分に、歯の神様の祭礼が執り行われますが、これは天皇の歯が立派であったことなどに由来します。拝殿には1854(嘉永7)年、立部村氏子26名が奉納した「三十六歌仙図」が掛かれています。



②反正天皇 丹比柴籬宮址

松原歴史ウォーク7
反正天皇と丹比柴籬宮

『日本書紀』には、第18代反正天皇がこの地に丹比柴籬宮を5年あまりおいたと伝えられています。河内では初めての王宮です。五穀がよく実り、人々はにぎわい、天下太平であったと記されています。そのうち丹比柴籬宮址は、「松生いし丹比の松原」といわれるようになり、松原の地名の由来はここから名付けられたといわれています。



③河内松原教会

松原歴史ウォーク201
河内松原教会と浪花教会牧師館



日本で最初の自給教会である日本基督教団浪花教会(大阪市)の三井牧師が松原に移ってきた頃、市内にキリスト教会はありませんでした。そこで、1955(昭和30)年、戦前に加藤貞治と歌手の渡辺はま子夫妻が所有していたドイツ館を購入して、河内松原教会が設立されました。翌年に初代牧師が赴任するまで、三井が浪花教会牧師を務めながら、兼任牧師となりました。その縁で、初期の頃は、浪花教会から礼拝堂の長椅子や聖餐式用具の寄贈を受けています。河内松原教会のスタートは浪花教会の三井牧師館が契機になったといえます。



⑧緑の一里塚

一里塚は、かつて街道を旅する人々にとって里程の目印であり、塚上の木がつくりだす木陰は一服の休憩所でもありました。2013年、竹内街道敷設1400年を記念して、地域の皆さんと協働で日本遺産である竹内街道・横大路沿いに大阪府で第1号「緑の一里塚」が整備され、ポケットパークなっています。同地は中世の河内鉄物の工房跡が発見された立派遺跡にあたります。

松原歴史ウォーク195
竹内街道・横大路一四〇〇年記念



⑨中高野街道 分岐道標

松原歴史ウォーク139 新発見された寛政9年道標

中高野街道と竹内街道が分岐する場所に寺社詣りの旅人を案内した道標が建てられていました。各面に「左ふちあ寺 上太子 やまと道」「左ひらの大坂道」「右かうや やまと道」「寛政九年丁巳五月 いせこう中」と記されていました。ただ、「かうや」と「やまと道」の間に石が欠けており、中央に「三日市」と刻まれていた可能性もあります。

平野方面からきた中高野街道は、松原南コミュニティセンター横を真っすぐ南に伸びていますが、これは大正時代後半につくられたものです。元はセンターから東に曲がり、竹内街道と100mほど重なった後、南に向かっていました。今も旧道が残っており、曲がり角の南東側に道標が建っていました。



ゴール 松原南 コミュニティセンター (寛政9年道標)

中高野街道と竹内街道分岐点では、松原南コミュニティセンター角(元の位置は竹内街道をはさんだ南西角)にある伊勢神宮の参拝を目的として結成された伊勢講が1797(寛政9)年5月に建てた花崗岩のかまぼこ型角柱(高さ90cm、幅29cm、奥行24cm)が古くから知られています。「右ひらの大坂道」「左さやま 三日市 かうや道」「左さかい道」「寛政九丁巳年五月 いせこう中」と記しています。

●開館時間:9:00~17:30
●休館日:火曜日、
年末年始(12/29~1/3)
●TEL:072-332-0373

松原歴史ウォーク139
新発見された寛政9年道標



松原歴史ウォーク

松原市の広報紙『広報まづばら』に1997(平成9)年から連載している『松原歴史ウォーク』の内容が松原市のホームページ内に掲載されています。記載のQRコードを読み込んでいただくとホームページにアクセスすることができます。また、各施設に関するページについては、QRコードを記載しておりますので、お楽しみ下さい。



松原歴史ウォークTOPページ

●王仁の聖堂址



その他の史跡



王仁の聖堂址

松原歴史ウォーク22
王仁の聖堂址伝説



『日本書紀』によると、応神が大王の頃、百濟から学者の王仁が大和王権に招かれ、応神の太子、菟道稚郎子の師となり、典籍を教えたとあります(応神16年条)。一方、「古事記」では、王仁は和邏吉と記され、孔子の『論語』十巻、『千字文』一巻を貢進したと記されています(応神段)。こうしたことから、江戸時代以後、儒学が盛んになるにつれ、王仁はわが国学問の祖としてあがめられるようになりました。聖堂は、孔子を祀る堂です。わが国で孔子を祀ることが始まったのは701(大宝元)年のことですので、4世紀後半頃に渡来したと思われる王仁が聖堂を建てた事実は不確かです。しかし、ここに聖堂があったと江戸時代以後、伝えられてきた背景には、河内に教育者王仁を顕彰し、学問を広めたいという願望があったからではないでしょうか。

水和産業



来迎寺

松原歴史ウォーク34
来迎寺と法明上人



1131(天承元)年、良忍は念佛の教えを広めるため、丹南に阿弥陀如来を安置する堂を建て、融通念佛十ヶ郷辻本大勧進阿弥陀寺と号しました。時の鳥羽上皇や崇徳天皇は、良忍に帰依しており、融通念佛の教えは各地に広まりましたが、良忍の死後は衰退してきました。その後、鎌倉時代末期に法明が現れ、融通念佛を復興しました。続いて法明は、阿弥陀寺が荒れるのを惜しみ、菅生神社(堺市美原区菅生)より得感した阿弥陀如来像を勧請し、同寺を中興。1324(正中元)年、阿弥陀寺から河内十箇郷六本別寺諸仏山護念院来迎寺と寺号を改めました。

阪和自動車道

2

大阪中央環状線

大阪中央環状線

2

大阪中央環状線

斜向道

市域の地図などを見ると、土地区画が東西または南北方向のものが多いことに気付きます。一方、市域の南部に、それらに逆らって、北西から南東方向に走る土地区画を見ることができます。直線状の土地区画は、古代の道路の痕跡と考えられます。一部は住吉街道として現在に伝わっていますが、大半は、ほぼ忘却された道路となっており、記紀などの文献資料にも登場しません。しかしながら、その痕跡から読み取れる規模や位置、方向性などから、記紀に記される古代の官道に比定(推定)されても遜色のないものです。

0 50m

N